

平成17年

7月

ニュースレター



市民活動のための

キャッチコピー

塾

こんなコピーが世の中を変えた!



無料

Catch copy seminar for civil activities.

ポスター・チラシのキャッチコピーは参加者を増やすための重要ポイントです。時間をかけて考え付いたキャッチコピーでも、人の気持ちに届かない場合があります。今回は市民活動実践者のために、何にでも応用できるキャッチコピーの作り方をやさしくご説明いたします。

7月13日(水)PM7時～9時

7月27日(水)PM1時30分～3時30分

※同じ内容を行いますので都合のよい日をお選びください。

講師

元電通クリエイティブ局勤務
専門学校講師
畑 泰彦 氏

目次

キャッチコピー塾	1
公開討論会を開くみたか市民の会	2
まちづくりセミナーを開催しました	3
PRのコツパートⅢを開催しました	3
7月イベント・展示会情報	4
『市民協働センター登録団体懇談会』 行います。	4

定員：60人（先着順）
（お申し込み・お問い合わせ）
三鷹市市民協働センターまで

- ★人の心を打つキャッチコピーの作り方
- ★盛り込みたいキーワード
- ★主観的キャッチコピーと客観的キャッチコピーの違い
- ★表したいことを凝縮する方法



公開討論会を開くみたか市民の会

◆東京都議選に向けての公開討論会開催

6月18日(土)、「都議選立候補に意欲のある人達の公開討論会」が開催されました。7月3日に行われる東京都議会選挙に立候補予定の全5人が集い、政策や理念を語りました。これを主催したのが『公開討論会を開くみたか市民の会』です。

◆14年の歴史

有権者が選挙前に立候補予定者の政策や理念を聞く機会であった立会演説会が1983年に廃止されたため、有権者は選ぶ判断材料が減ってしまいました。そこで、「みたか市民ネットワーク」が1991年の三鷹市市長選挙の際に立候補予定者全員を一堂に集め「ワイワイトーク」を開催しました。

当初は1つの政党に肩入れしているのではないかと疑われたり、私服警官に囲まれたこともありました。会員の努力で東京都議会選挙(7月3日開催)まで実に14年間続けてきたのです。

◆新たな団体が発足

これまでずっと主催してきた「みたか市民ネットワーク」に今回の都議選から世話人である内藤さんと浦さんが加わり、『公開討論会を開くみたか市民の会』として生まれ変わりました。

◆地域の力を結集

武蔵野三鷹ケーブルテレビ局の協力により、公開討論会の模様を他では異例の2時間枠で2回放送が実現し、他にも手話通訳、未成年者のための特別席を設けるなど、ユニークな取り組みが行われました。

公開討論会だけでなく、「模擬投票」(選挙権をもたない未成年者が、実際の投票日に行う模擬の投票)や、「選挙セール」(投票をした人がもらえる投票済証を、提携したお店に提示するとサービスが受けられる)も実施します。これらには地域の協力が不可欠です。この会のメンバー一人ひとりが普段から地域で活動を行い、横のつながりを大切にしてきたからこそ実現したのです。

「メンバー一人ひとりのバックグラウンドや考え方がばらばらだからこそこの会は面白いんです。」と高橋さん。この団体の底力を感じました。



左から、横佩さん(当日のお手伝い)、(世話人)高橋さん、(世話人)宮川さん、(世話人)浦さん、(事務局長)前田さん、(世話人)渥美さん、(世話人)内藤さん。
※残念ながら6人の世話人のうち、川井さんが写っていませんでした。



6月18日(土)に開催された『都議選立候補に意欲のある人達の公開討論会』の様子。立候補予定者5人が並び、政策や思いについて語りました。前列には「未成年者席」が設けられ、高校生が座っていました。

公開討論会を開くみたか市民の会

連絡先: 前田隆事務局長(090-3137-0154)

まちづくりセミナー 6月20日(土) 「三鷹らしい協働を実現するために」を開催しました

An event was held “Realizing Mitaka style collaboration”.



6月20日(月)協働センターにて、セミナー『三鷹らしい協働を実現するために』を開催しました。

講師は立教大学教授中村陽一先生。協働センター設立にあたって、まちづくり研究所第1分科会の座長でもいらっしゃいました。

◆協働とは何か◆

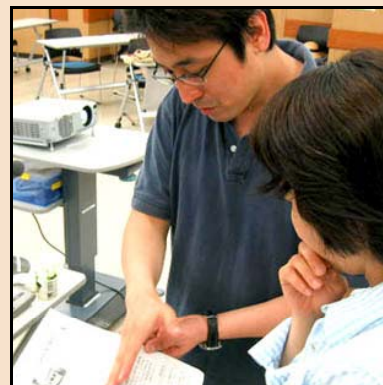
- ・協力して働くこと
- ・志や目的・手法が多少違って、共通の目標に向かって協力関係を結ぶ
- ・日常的な「顔の見える」関係性を基盤とした具体的な事業

PRのコツ パートIII 5月21日(土)、6月4日(土) 『市民活動のためのニュースレターの作り方』を開催しました

“How to create a community news letter” was held.



講座終了後、まだ質問が絶えませんでした。



プロのデザイナーである田中さんから直接アドバイスをいただけたのもこの講座の醍醐味でした。

ニュースレター作成のポイント

- ① 誰に伝えたいのかを明確に
- ② 掲載したい記事の優先順位をつけて配置する
- ③ 読み手側を考えた文章にする
- ④ タイトルは工夫して面白く
- ⑤ 余白・大きさ・配置・色の濃淡に目線の流れを作る
- ⑥ 間違いない様に多くの人に確認してもらう

講師 田中誠司先生、感謝！

田中さんは大忙しのデザイナー。6回も講座をお引き受けいただき、ありがとうございました！
「ゴミ袋もアートのように美しくしたら見てもらえる。説教ではなく、“気付いてもらう”ために、デザインしたい」
これからも三鷹でのご活躍を祈っています！

ご参加ください



13日(水)午後7時～9時

27日(水)午後1時30分～3時30分
『このコピーが世界を変えたー明解キャッチコピー塾』

講師：元電通クリエイティブ局勤務・専門学校講師
畑 泰彦氏

会場：協働センター 第1会議室
主催：三鷹市市民協働センター

※同じ内容を行いますので都合のよい日をお選びください。

15日(金)午後7時～9時

『第4回みたか市民活動・POフォーラム実行委員会』

11月20日(日)を中心に前後3日間、市民活動の内容展示と紹介、及び交流を行います。一緒に内容や運営方法を考えましょう。

会場：協働センター
主催：ファーストステップみたか
連絡先：0422-4719619
motoyama@mbn.nifty.com(本庁)

29日(金)午後7時～9時

「市民協働センター登録団体懇談会」
詳細は下記をご覧ください。

Exhibition plan.

展示ホール展示予定

三鷹市内各地に残る「石像物」の写真展

展示期間：7月1日(金)～8月31日(水)まで

「三鷹の歴史研究会」が三鷹市の前身である“三鷹村”を構成した10ヶ村に今も残る文化遺産を調査し、1年が経ちました。市内にも数多くの文化遺産が残っていることを改めて確認していただければ幸いです。

Round-table conference for registered organizations.

『市民協働センター登録団体懇談会』

ご参加ください

登録団体との懇談会と交流を目的に登録団体懇談会を開催します。今秋完成する予定のオープンスペースの説明も致します。登録団体の皆様、また協働センターに興味のある方もお気軽にご参加ください。

7月29日(金)午後7時～9時

場所：三鷹市市民協働センター

申し込み：当日直接会場までお越しください。



Editor's note.

編集後記：『PRのコツ』講座に続き、次は『キャッチコピー塾』を開催します。PRのコツと同様開催の希望が多かった講座です。市民活動にこそ必要なスキルだと思います。たくさん来ていただきたいです。

新たな展示会を開催します。三鷹に残る石像物の写真展です。普段何気なく見ていた石造に深い歴史が隠されている事に気づくことができますよ。

発行日：平成17年7月1日

発行：三鷹市市民協働センター

(三鷹市生活環境部コミュニティ文化室)
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-17-23

TEL 0422-46-0048 FAX 0422-46-0148

Eメール：kyoudou@collabo-mitaka.jp

ホームページ：http://www.collabo-mitaka.jp